

表 1 表 臍帯血および新生児血のコレステロール  
およびコレステロールエステル比

	臍帯血 mg/dl	新生児血
コレステロール	m=78.4 range 47~130	m=118.0 range 65~197
エステル比	m=69 (%)	m=70 (%)

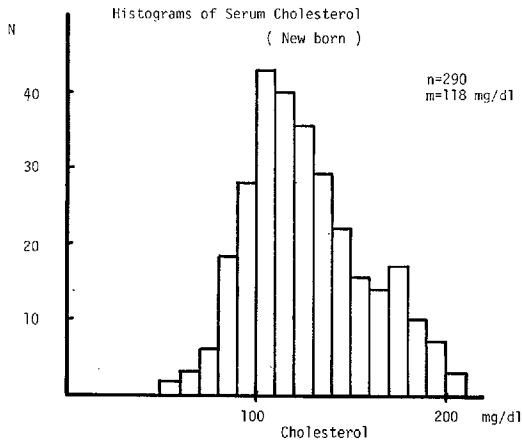


図 1

## 臍帯血の総コレステロール値による高脂血症の スクリーニングに関する検討

都立清瀬小児病院 熊谷 通夫

臍帯血による高脂血症のスクリーニングに関しては問題のあるところで、現在のところその正確な方法はないといえる。著者は既に過去2年間に500例の臍帯血総コレステロール値を測定して6例の臍帯血高コレステロール血症(100 mg/dl以上)を認めている。今回は更に192例の臍帯血の総コレステロール値の測定を行い高コレステロール血症8例の存在を認めた。これらについて追跡し、果して臍帯血に高コレステロール血症のある者が真の高脂血症であるか否かを検討することは、臍帯血コレステロール値測定の意義を確立する一つの方法と考えられるので、数年間にわたって追跡する予定である。

1. 192例の臍帯血コレステロール値。100 mg/dl以上を示した8例を除く平均は  $65.6 \pm 13.5$  mg/dl であった。

高コレステロール血症を示した8例は夫々 102, 103, 234, 292, 332, 333, 338, 341 mg/dl と異常高値を認めた例があ

である。生後3日での採血が大部分であるが、臍帯血から3日間の平均にして40 mg/dlの上昇をどのように考えるかは今後の問題である。また臍帯血にて高い例と新生児血での高い例が必ずしも一致しない点は興味がある。

エステル比については平均70%と臍帯血と比してあまり変化がない。また290例中に7例50%以下の症例が含まれ2例について5週までの追跡が可能であった。そのうちの1例は3週より65%と正常化し、1例は5週を経ても39%と変化していない。肝でのLCATの生成の問題と関連して今後の検討が必要であろう。またエステル比の上昇を認めなかった例において cholinesterase 活性の低下は観察されなかった。またこの症例2例共に、リポ蛋白の分画では正常のパターンであったが、 $\beta$ -リポ蛋白は低値を示した。一方、父方にいづれもIV型の高脂血症が認められた。

以上の結果を表1にまとめた。

### III. ま と め

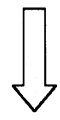
臍帯血コレステロール値から生後3日目のコレステロール値の間には約40 mg/dlの変化が認められた。一方、エステル比においては変化は観察されない。

り、今後の追跡が必要である。

先に認めた6例の臍帯血高コレステロール血症例について1年後に追跡した結果は、(2例は追跡不能)

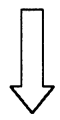
症例	年齢(月)	総コレステロール値	TG	PL	リポ蛋白パターン			症状	家族歴
					$\alpha$	pre- $\beta$	$\beta'$		
1	12	156	49	171	43	6	51	(-)	
2	12	255	81	241	29	26	45	(-)	高コレステロール血症
3	11	122	70	162	51		49	(-)	高血圧
4	11	206	53	209	40	11	49	(-)	

4例中2例は正常範囲内に正常化していたが、2例は200 mg/dl以上という高コレステロール血症を示していることは今後更に注意深い追跡が必要であることを示している。



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



臍帯血による高脂血症のスクリーニングに関しては問題のあるところで、現在のところその正確な方法はないといえる。著者は既に過去2年間に500例の臍帯血総コレステロール値を測定して6例の臍帯血高コレステロール血症(100mg/dl以上)を認めている。今回は更に192例の臍帯血の総コレステロール値の測定を行い高コレステロール血症8例の存在を認めた。これらについて追跡し、果して臍帯血に高コレステロール血症のある者が真の高脂血症であるか否かを検討することは、臍帯血コレステロール値測定の意義を確立する一つの方法と考えられるので、数年間に涉って追跡する予定である。